

創立146周年

学校だより



はえ
南風の子

中種子町立

南界小学校

令和元年7月18日(木)

実りある夏休みに

校長 吉留 巧

平成から令和へと時代が変わった1学期も、いよいよ19日の「終業式」を迎えることになりました。子どもたちはどんな顔で通知表を持ち帰るでしょうか。評価の良かったところはたくさん褒めてあげてください。

南界小の子どもたち22名は、毎日元気に登校し日々の学校生活に満足し、どの子も確かな成長を遂げたものと思います。23日の水泳記録会に参加する4～6年生には自己新記録を目指してがんばってほしいと思います。



さて、ときどき保護者から「先生、うちの子はどうもやる気がなくて・・・。」という言葉が耳にすることがあります。

でも、子どもたちはやる気を持たずに生まれてきたのでしょうか。寒さが厳しい北ヨーロッパの地から、温暖な南ヨーロッパの地に移り住んだ養蜂家のお話があります。



年中花が咲き誇っている土地に来て、「この地ではミツバチを飼えば花が一年中咲いているので蜂蜜の収穫はあがるだろう。」と考え、養蜂を行ったそうです。予想は大当たり。多くの蜂蜜が収穫できて大もうけをしたそうです。しかし、2年目は1年目ほど収穫が上がらなくなり、4年目になるとミツバチは蜂蜜をほとんど蓄えなくなったそうです。調べてみると、ミツバチはやがて来る厳しい寒さの冬に備えて、蜜を蓄える習性があり、いつも花が咲いている恵まれた環境の中では、最小限の蜜しか集めなくなる習性があることが分かったそうです。

子どもたちも、環境が恵まれていたり、親や教師が過保護に準備などしたりすると、自分からやろうとする意欲をなくすことがあります。このように子どもたちのやる気の無さは、後の環境がつくりだしているとも言えます。この話は、子どもたちを健全に育てようとするならばある程度の厳しさ・試練・抵抗を与えながら育てることも大切だと教えています。

さて、もうすぐ夏休みです。今年は44日間、子どもたちは家庭で生活することになります。子どもたちは開放感もあると思いますが、規則正しい生活(適切な睡眠・食事・学習・お手伝い)を、計画を立てて実行させてください。夜には、親子で今日の生活を振り返る時間を持つていただければと思います。



1学期は、鹿児島をはじめ日本各地で地震や水害が発生しました。ここ種子島でも、自然災害や交通事故や海・川の事故があるかもしれません。いざという時の家族の合い言葉や集合場所、約束事など家族で共通理解しておいてください。

最後に、子どもたちが交通事故や水難事故に遭わず、健康安全に留意して、元気に2学期を迎えられるよう家庭や地域で見守りをお願いします。

【愛校作業へのご協力をお願いします】

今年の「校区・小学校合同運動会」は、9月22日に開催します。今年も、昨年同様、地域の皆様と一緒に盛大に開催出来ると信じています。

さて、運動会に向けて運動場などを整備する愛校作業を8月25日(日)朝8時から実施します。今年度のPTA戸数も16戸と少なくなりました。校区の運動会でもありますので、地域の皆様の愛校作業への御協力をいただけるとありがたく思います。なお、参加できる方は学校まで(27-9009)連絡をいただけると助かります。